

2018年議会選挙で スウェーデン民主党はなぜ躍進したのか？

—北部地域における政党支持の変動—

清水 謙

立教大学法学部兼任講師

敗者なき選挙？

2018年9月に行われたスウェーデンの議会選挙は、スウェーデン現代政治史において最も混迷した選挙であったと評して差し支えないだろう。今回の選挙は、社会民主党、環境党・緑、左派党からなる旧「赤緑連合」¹が144議席、そして、穏健連合党、自由党、キリスト教民主党、中央党からなる「同盟」（通称アリアンセン）が143議席と保革両ブロックがわずかに1議席差で拮抗する結果となった。そして、いずれのブロックにも属さないスウェーデン民主党が、62議席を獲得して議会第三党の地位を確たるものにした。

選挙から1ヵ月以上経過しても新政権の発足

しみず けん

東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻（国際関係論分野）博士課程単位取得満期退学（2017年）。修士（欧州研究）、専門分野は、国際政治学・スウェーデン政治外交史。日本学術振興会特別研究員（2009年～2012年）を経て、2016年より立教大学法学部兼任講師。著書に、「スウェーデン—移民／難民をめぐる政治外交史」『人の国際移動とEU地域統合は「国境」をどのように変えるのか？』（法律文化社、2016年）、「スウェーデンにおける『移民の安全保障化』—非伝統的安全保障の脅威認識形成—」『国際政治』172号（2013年）、「スウェーデンにおける国籍不明の潜水艦による領海侵犯事件についての分析—「中立」と西側軍事協力と武力行使基準に着目して—」『DUN—北欧研究—』21号（大阪大学言語文化研究科言語社会学専攻デンマーク・スウェーデン語研究室、2015年）など。

に至っていないが、これはいずれの政党も極右政党のスウェーデン民主党と連立を組むことに難色を示しているからである。そこで本稿では、なぜこのスウェーデン民主党が大きく躍進したのか、その要因を解明する。

単一争点政党からの脱却と 議会への進出

スウェーデン民主党は1988年2月6日に結党された、「新スウェーデン運動」（Nysvenska rörelsen）と呼ばれる戦間期のファシスト運動の流れを汲む政党である（清水2011：13）。結党当初のスウェーデン民主党はネオナチのような集団で、しかも1993年の党執行部の有前科者の比率は54%に及ぶことが指摘されるなど（Larsson & Ekman 2001；Larsson 2004:82）、反社会的勢力の色彩が強い組織であった。他の政党がスウェーデン民主党と連立を組むあるいは閣外協力を得ることに大きな抵抗感を持っているのは、このようにネオナチのルーツを持つからである。

しかし、2001年にスウェーデン民主党内で過激な移民排斥を訴えるネオナチ系のグループが党を割って集団離党し、2005年5月8日、スウェーデン民主党全国大会において、スウェーデン民主党青年部長を務めていた26歳のインミ・オーケソン（Jimmie Åkesson）が党首選で党首に選出されると党執行部も刷新され、基本綱領の改訂などが

行われた。

今日のスウェーデン民主党の躍進を理解する上で重要なのが、2005年に改訂された基本綱領である。この綱領では「安心と伝統」(Trygghet och Tradition)の2つが骨子となっており、現在のスウェーデン民主党が掲げる2018年の基本綱領にも引き継がれている。スウェーデン民主党は、自党のイデオロギーが社会民主主義と国民保守主義の融合にあると規定し、前者が社会民主党の建設してきた福祉国家体制で国民が享受できる安心を、そして後者が結党以来受け継がれてきたスウェーデンの伝統的価値観の保持をそれぞれ指している(Sverigedemokraterna 2005)。この2つを合わせてスウェーデン民主党が目指す国家像とは、社会民主党のパール＝アルビン・ハーンソンが唱えた「国民の家」(Folkhemmet)に集約される²⁾。しかし、その達成手段として社会民主党と同じく「連帯」(solidaritet)という言葉が用いられているものの、両党の間で大きく異なるのは、社会民主党が「国際的連帯」(internationell solidaritet)や「国境なき連帯」(solidaritet utan gränser)を掲げてきたのに対して、スウェーデン民主党は階級闘争から距離を置いて「国民的連帯」(nationell solidaritet)を謳っている点である。これはすなわち、「スウェーデン人優先型」の福祉国家の実現を目指す姿勢の現れである。この新綱領によって、実際にそのように認識されているかは別としても、スウェーデン民主党は穏健連合党とも社会民主党とも異なる中道政党として自党を位置づけようと試みた。さらにオーケソンは、過去にネオナチ系の組織に所属していた党員を除名するなど「党内粛清」も推し進め、ネオナチ的なイメージを払拭することにも注力した。とはいえ、スウェーデン民主党のレトリックは結党当時から変わっていないとの指摘もある(Ekström von Essen & Fleischer 2006)。

この2005年の新綱領を掲げたオーケソン体制のスウェーデン民主党は、2006年の議会選挙で162,463票を獲得して、得票率2.93%にまで大きく飛躍した。そして、2010年の選挙に際しては、

「福祉の修復」と題する独自の予算案を作成し、移民問題だけにとどまらない総合的な改革案を有権者に示した(Sverigedemokraterna 2010)。この選挙でスウェーデン民主党の得票率は4%の阻止条項を突破する5.7%に達し、議会へと進出した。

スウェーデン民主党が支持を伸ばした要因は、単一争点政党から包括政党になろうと党内改革を行った上で、「国際的連帯」と「国民的連帯」という方向性の違いはあるものの、スウェーデン民主党が社会民主党の掲げてきた標語を基本綱領の中に散りばめ、社会民主党の伝統的な政策領域を明確な形で取り込んだことにある。これによって、スウェーデン民主党は社会民主党の支持者のうち、スウェーデン人優先型の福祉国家を望む有権者の票を吸い上げることに成功したといえる。社会民主党投票者層の社会経済的ステータスとスウェーデン民主党投票者層のそれとを比較すると、いずれも「地方居住の民間雇用で所得が低く、社会民主党最大支持母体である全国労働組合同盟(Landsorganisationen i Sverige; LO)に加入している者」という点で重なっている(Oscarsson & Holmberg 2008: 269-308; 清水 2011: 17-21)。特に社会民主党の最大支持母体であるLO内で、スウェーデン民主党支持者が増加していることは見落としてはならない大きな変化であろう。しかし、社会民主党の伝統的な政策領域を取り込む選挙戦略はスウェーデン民主党に限ったことではなく、長年小さな政府路線を訴えて社会民主党と対峙してきた穏健連合党についても言えることである(Rothstein 2006; Möller 2007:304; Aylott & Bolin 2007:627; Agius 2007:586; Oscarsson & Holmberg 2008; 清水 2011)。

新たな票田としての北部

2018年の選挙の争点は、大きく医療、移民、学校教育の3つであった。特に医療については、ルヴェーン政権が福祉の充実のために増税を進めたにもかかわらず、財源不足により地方部で歯科

や産婦人科の医療施設が軒並み閉鎖されていたことが問題となった。とりわけそのあおりを受けたのがスウェーデン北部地域であった。北部は社会民主党の牙城と呼ばれるほどに社会民主党の支持率が高い地域として知られている。しかし、2018年5月にスウェーデン中央統計局が行った世論調査では、北部での社会民主党の伸び悩みとスウェーデン民主党への支持が拡大しており³、さらに、アフンブラーデット (Aftonbladet) 紙とイニーツィオ (Inizio) 社による世論調査においては、北部の有権者の支持者が社会民主党からスウェーデン民主党へと流れていることが指摘されていた⁴。

2018年の選挙では、社会民主党が北部で大幅に得票率を失った一方で、スウェーデン民主党が大きく得票率を伸ばす結果となった。スウェーデンテレビが選挙後に集計した統計によれば、ノルボッテン (Norrbotten) 県では社会民主党の得票率が7.0%下落しているのに対して、スウェーデン民主党は4.8%上昇、ヴェステルボッテン (Västerbotten) 県では社会民主党が3.9%下落しているのに対してスウェーデン民主党は3.5%上昇、そして、ヴェステルノルランド (Västernorrland) 県でも社会民主党が6.5%下落しているのに対してスウェーデン民主党は4.7%上昇している状況にある⁵。

このことから、社会民主党の伝統的政策領域を取り込んだスウェーデン民主党が、医療/福祉のサービス低下に直面している北部の有権者にとって、社会民主党に代わる有力な投票先になっていることが浮き彫りとなってくる。スウェーデン南部のスコーネ県を中心に党勢を拡大してきたが、2018年の選挙でスウェーデン民主党がさらに躍進を果たした要因は、社会民主党の票田であるスウェーデン北部でスウェーデン民主党が新たな支持者を獲得していったことにあるといえよう。■

《注》

- 1 ここではスウェーデンでの通例に従って「赤緑連合」と表記するが、厳密には「赤緑連合」は2010年に解消している。
- 2 ハーンソンが唱えた「国民の家」構想は、社会民主主義の理念から生まれたものではなく、保守系の有権者の支持を得るために保守系のレトリックを取り込んだものである。
- 3 <http://www.scb.se/hitta-statistik/statistik-efter-amne/demokrati/partisymptier/partisymptiundersokningen-psu/pong/statistiknyhet/partisymptiundersokningen-psu-i-maj-2018--val-idag/> (2018年10月22日閲覧)
- 4 <https://www.aftonbladet.se/tv/a/262615> (2018年10月22日視聴)
- 5 <https://valresultat.svt.se/2018/12900.html> (2018年10月22日閲覧)

《参考文献》

- Agius, Christine, (2007) 'Sweden's 2006 Parliamentary Election and After: Contesting or Consolidating the Swedish Model?', *Parliamentary Affairs*, Vol.60, No.4, pp. 585-600.
- Aylott, Nicholas & Bolin, Niklas, (2007) 'Towards a Two-Party System? The Swedish Parliamentary Election of September 2006', *West European Politics*, Vol.30, No.3, p.621-633.
- Ekström von Essen, Ulla & Fleischer, Rasmus, "Nazismens rasistiska retorik präglar Sverigedemokraterna", *Dagens Nyheter*, torsdagen den 6 juli 2006.
- Larsson, Stieg, (2004) 'Sverigedemokraternas valkandidater', i Richard Slätt (red.), *Sverigedemokraterna från insidan. Berättelsen om Sveriges största parti utanför riksdagen*, Stockholm: Expo och Hjalmarson & Högberg.
- Larsson, Stieg & Ekman, Michael, (2001) *Sverigedemokraterna: Den nationella rörelsen*, Stockholm: Ordfront.
- Möller, Tommy, (2007) *Svensk politisk historia. Strid och samverkan under tvåhundra år*, Stockholm: Studentlitteratur.
- Oscarsson, Henrik, & Holmberg, Sören, (2008) *Regeringsskifte. Väljarna och valet 2006*, Norstedts Juridik.
- Rothstein, Bo, "Valet en triumf för Socialdemokraterna", *Dagens Nyheter*, onsdagen den 20 september 2006.
- Sverigedemokraterna, *Sverigedemokraternas princip-*

program 2005-05-04.

Sverigedemokraterna, *En återupprättad välfärd. Sverigedemokraternas skuggbudget våren 2010.*

清水謙 (2011) 「スウェーデンの 2006 年議会選挙再考—スウェーデン民主党の躍進と 2010 年選挙分析への指標—」『ヨーロッパ研究』10 号、7-27 頁。

SCB, (2018.6.15.) *Partisymptiundersökningen maj 2018*, <http://www.scb.se/hitta-statistik/statistik-efter-amne/demokrati/partisymptier/partisymptiundersokningen-psu/pong/statistiknyhet/partisymptiundersokningen-psu-i-maj-2018---val-idag/> (2018 年 10 月 22 日閲覧)

Aftonbladet, (2018.8.17) *SD rekordökar i norra Sverige*, <https://www.aftonbladet.se/tv/a/262615> (2018 年 10 月 22 日視聴)

Sveriges Television, (2018.9.16) *Riksdagsvalet: Norrbottens län*, <https://valresultat.svt.se/2018/12900.html> (2018 年 10 月 22 日閲覧)

